

平成 26 年度第 5 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 26 年 08 月 25 日 16 時～17 時 07 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、鈴木、北村、牧野、伊藤、浅野、家崎、中山（敬略称、順不同）
新規研究計画の審議	
申請者	堀 剛大
研究名	体組成分分析装置（BCM）の有効性
研究内容 要旨	体組成分分析装置（BCM）は、体液の過不足を算出出来る装置であり、透析後適正体重を決定する指標のひとつである。外来透析患者に体液量測定を行い、BMC による過不足の体液の総量の値が適切かどうかを調査する。
審議結果	差し戻し
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究参加者（被験者）用の説明書をわかりやすく記載する。</li> <li>・ 研究成果の説明は他の被験者の個人情報保護に支障のない範囲内で行うことを説明書に記載する。</li> <li>・ 体液分析装置の使用が、生命維持装置、ペースメーカー使用者、中心静脈カテーテルを使用して医療機器に接続している患者には禁忌であることは、説明書の研究計画、方法、対象者として選定された理由などの欄に記載する。</li> <li>・ 健康被害の補償が不要と考える場合は、その理由を記載する。</li> <li>・ 問い合わせ、苦情などの窓口責任者はフルネームで記載する。</li> </ul>
新規研究計画の審議	
申請者	川村 皓生
研究名	当院コミュニティプール利用者に対する、利用満足度と心身機能に関する調査
研究内容 要旨	温泉、プール運動の効果として、心肺機能の向上、四肢筋力の向上、疼痛軽減などが報告されており、他者との交流が促され、閉じこもりや抑うつ改善効果も期待されている。しかし、利用者の満足度や心身機能の評価を行っていないため、今回、調査する。
審議結果	条件付承認
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究に参加した人に研究結果を伝えることについて他の研究参加者の個人情報保護に支障のない範囲内で伝えることを記載する。</li> <li>・ 研究終了後に試料を廃棄する際には、匿名化した上で廃棄する。</li> </ul>
新規研究計画の審議	
申請者	東内 昭子
研究名	食べる意欲に繋がる食事介助の調査～職員の疑似体験を通して～
研究内容 要旨	治療と同様に食事は重要であり、日々病状の変化がある患者に安全に食事を提供するために基礎介護技術が求められる。経験年数の違

	いで基礎介護技術の習得度合いの差を検証し、疑似体験をして介護者としての視点や技術の必要性を研究する。
審議結果	差し戻し
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究名と研究内容が異なる。</li> <li>・ 説明書の「食べるという行為を奪われ」が不適切である。</li> <li>・ 研究同意をいつでも不利益を受けることなく撤回できることを説明書に記載する。</li> <li>・ チェックリストは第三者及び擬似患者が記入することを説明書に記入する。</li> <li>・ 研究に用いる食事内容、研究時間について説明書に記載する。</li> <li>・ 研究参加者（当院の職員）が、研究結果によって（人事上などの）不利益を受けないことを説明書に記載する。</li> <li>・ 試料を研究終了後保存するか否かを説明書に記載する。</li> <li>・ 研究結果を公表する予定があるか否かを説明書に記載する。</li> <li>・ 補償の有無について説明書に記載する。</li> </ul>
新規研究計画の審議	
申請者	山本 奈央
研究名	認知機能低下を認める患者の生活歴を知ることで起こる介護スタッフの意識変化とその調査
研究内容 要旨	認知機能が低下した患者の生活歴を介護スタッフに情報提示することにより介護スタッフの意識変化・ケアの質の向上、認知症患者の入院期間中の周辺症状や認知機能改善の検証をする。
審議結果	差し戻し
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者用と介護スタッフ用に別々に説明書、同意書を作成する。</li> <li>・ 生育歴、家族歴、趣味、職歴などの調査用紙を患者説明書に添付する。</li> <li>・ 研究方法がわかりにくいので、図などを使ってわかりやすく説明する。</li> <li>・ 説明書に、研究対象者として選定された理由を記載する。</li> <li>・ 研究に参加した人に研究結果を伝えることについて 他者の個人情報保護に支障がない範囲で伝えることを記載する。</li> <li>・ 研究終了後も試料を保存する場合は、試料の名称、保管場所、管理責任者、保存期間、匿名化（連結可能、不可能）の有無などについて同意書に記載する。</li> </ul>
付議不要と判断された研究計画の報告	
申請者	水谷 真康
研究名	当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者の自宅復帰に影響する因子の検討